

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第35週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (35 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、梅毒 6 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	骨結核	関節炎
		日南	80歳代	男	肺結核	痰
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	都城	70歳代	女	家族性CJD 診断の確実度：ほぼ確実	進行性認知症、記憶障害、 精神・知能障害、 臨床的に頑固な不眠
	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性乾癬
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性パラ疹
			40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	眼症状
	梅毒	都城	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
30歳代			女	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳	

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,940 人(定点当たり 40.4) で、前週比 121%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症及び手足口病で、減少した主な疾患は特になかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 1,108 人(19.1)で、前週比 112%と増加した。延岡(25.0)、小林(22.8)、高鍋(22.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【インフルエンザ】

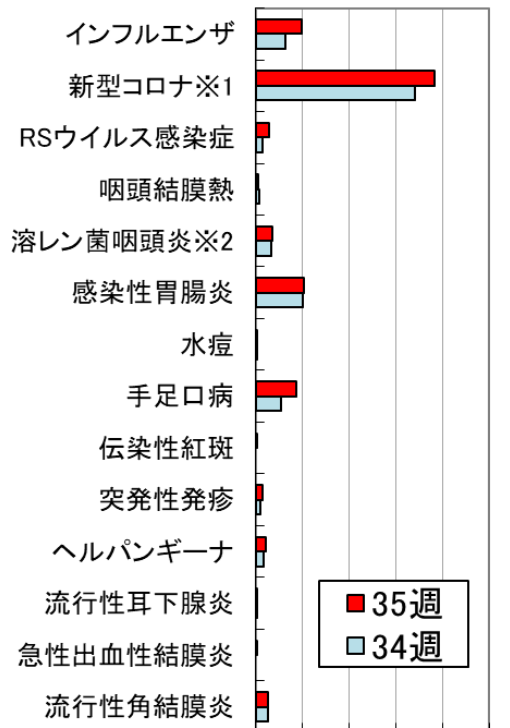
報告数は 287 人(5.0)で、前週比 156%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.13)の約 37.5 倍であった。小林(14.8)、日南(9.4)、延岡(9.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【手足口病】

報告数は 157 人(4.4)で、前週比 160%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約 2.9 倍であった。延岡(7.8)、宮崎市(6.2)、小林(5.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 5 歳が全体の約 9 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

《前週との比較》



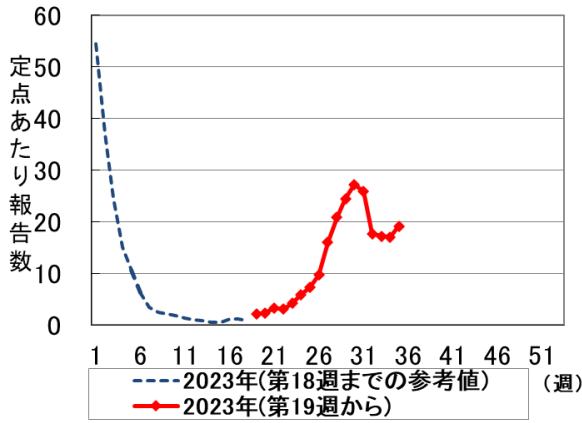
0 5 10 15 20 25

定点あたり報告数

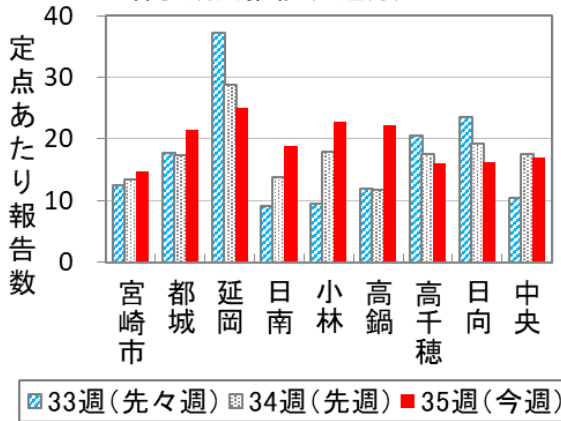
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

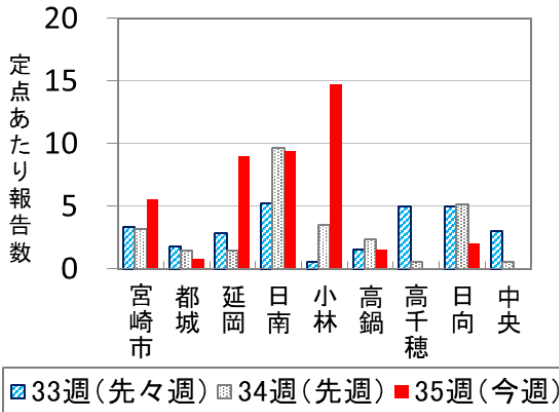
新型コロナウイルス感染症 発生状況



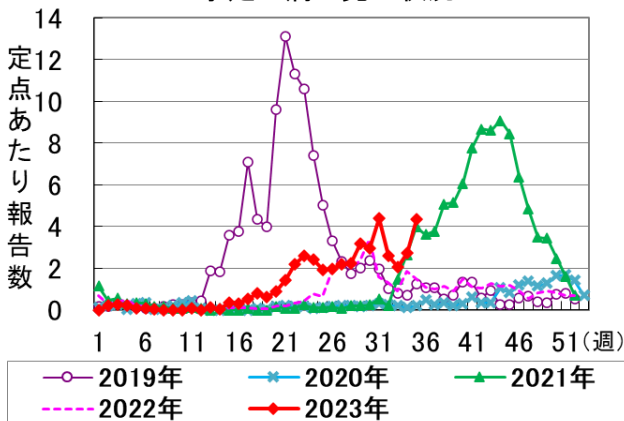
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



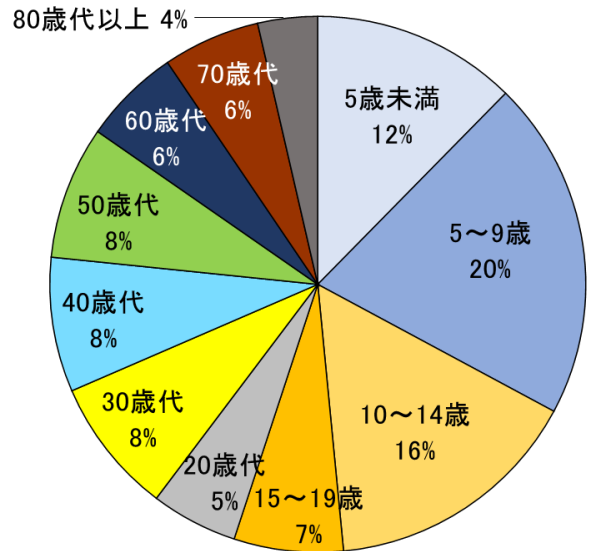
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況

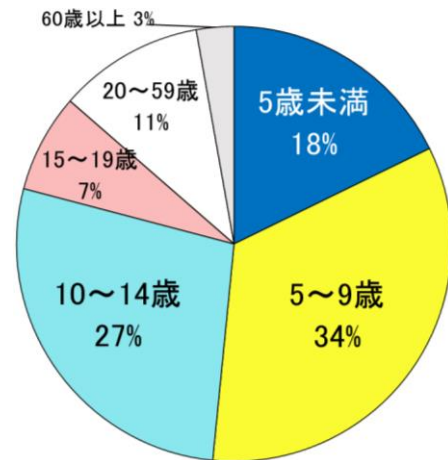


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第35週)

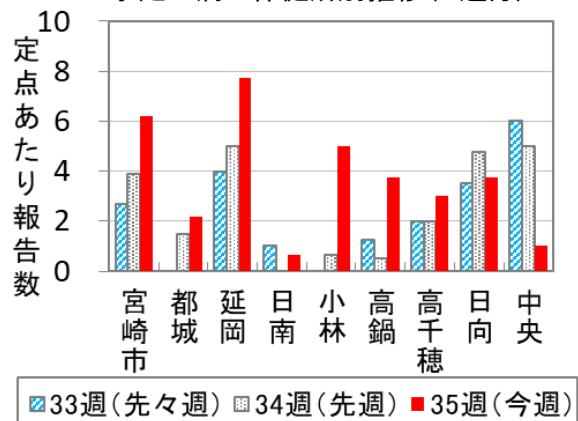


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

インフルエンザ年齢群別グラフ(第35週)



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(6.2)
都城	なし
延岡	手足口病(7.8)
日南	なし
小林	インフルエンザ(14.8)、手足口病(5.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

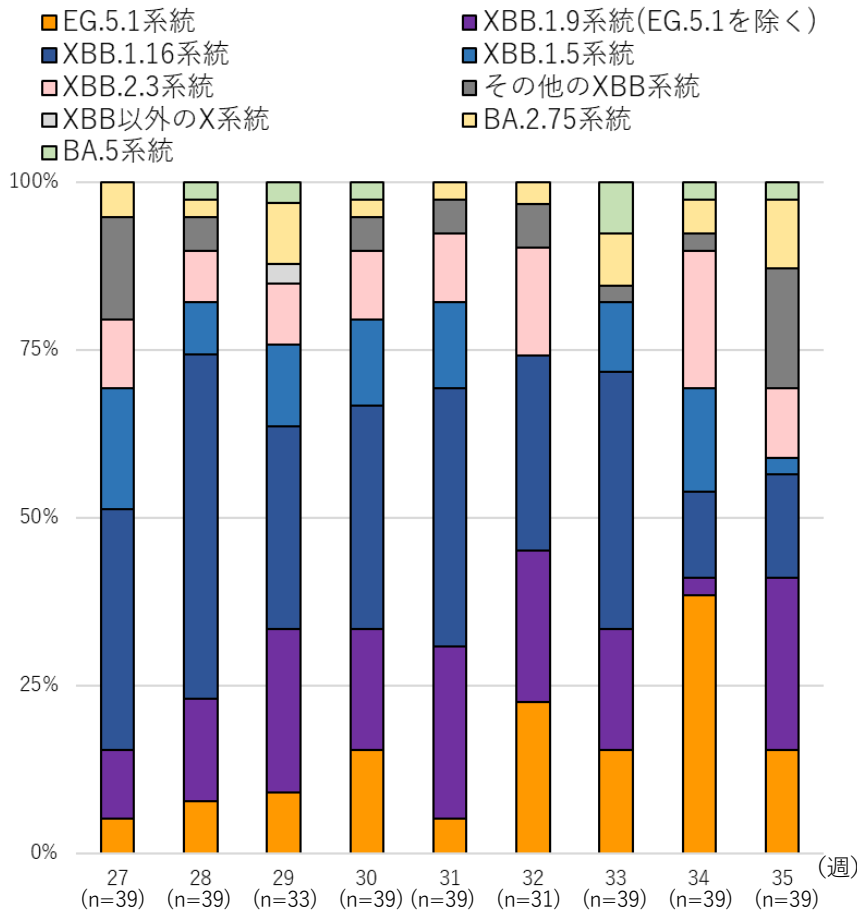
・手足口病(5)

＊流行注意報レベル基準値＊

・インフルエンザ(10)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



XBB 系統は第 35 週で約 87%を占め、EG. 5. 1 系統（XBB. 1. 9. 2 の子孫株）が約 15%を占めた。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBB は BJ. 1（BA. 2. 10. 1 系統）／BM. 1. 1. 1（BA. 2. 75. 3 系統）の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

✚ 全国 2023 年第 34 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	260 例			
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	213 例	
4類感染症	E型肝炎	4 例	エキノкокクス症	1 例	つつが虫病 1 例
	デング熱	9 例	日本紅斑熱	16 例	レジオネラ症 36 例
	レプトスピラ症	3 例			
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 40 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	8 例	クリプトスポリジウム症 1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例	後天性免疫不全症候群 8 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵襲性肺炎球菌感染症 16 例
	水痘(入院例)	2 例	梅毒	223 例	破傷風 3 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	18 例	麻しん 1 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 112%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘であった。

インフルエンザの報告数は 6,910 人(1.4)で前週比 139%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.07)の約 19.6 倍であった。沖縄県(5.4)、宮崎県(3.2)、福岡県(2.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 93,792 人(19.1)で前週比 107%と増加した。岩手県(31.7)、青森県(31.3)、宮城県(29.5)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第35週(08月28日～09月03日)

疾病名		第34週	第35週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	184	287	89	8	63	47	59	9		12	
	定点当り	3.17	4.95	5.56	0.80	9.00	9.40	14.75	1.50	0.00	2.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	987	1108	235	215	175	94	91	134	32	98	34
	定点当り	17.02	19.10	14.69	21.50	25.00	18.80	22.75	22.33	16.00	16.33	17.00
RSウイルス感染症	報告数	27	50	15	8		7	2	14		4	
	定点当り	0.75	1.39	1.50	1.33	0.00	2.33	0.67	3.50	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	13	10	1		1	2	4	1		1	
	定点当り	0.36	0.28	0.10	0.00	0.25	0.67	1.33	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	59	64	18	26	2	6		1		8	3
	定点当り	1.64	1.78	1.80	4.33	0.50	2.00	0.00	0.25	0.00	2.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	180	185	51	49	7	9	31	15	2	11	10
	定点当り	5.00	5.14	5.10	8.17	1.75	3.00	10.33	3.75	2.00	2.75	10.00
水痘	報告数	1	3	3								
	定点当り	0.03	0.08	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	98	157	62	13	31	2	15	15	3	15	1
	定点当り	2.72	4.36	6.20	2.17	7.75	0.67	5.00	3.75	3.00	3.75	1.00
伝染性紅斑	報告数		2				1				1	
	定点当り	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	19	24	7	1	4	6	4	2			
	定点当り	0.53	0.67	0.70	0.17	1.00	2.00	1.33	0.50	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	29	40	5	2	22	1		2		8	
	定点当り	0.81	1.11	0.50	0.33	5.50	0.33	0.00	0.50	0.00	2.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1	1								
	定点当り	0.06	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数		1		1							
	定点当り	0.00	0.17	0.00	0.50	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	8	3	5							
	定点当り	1.33	1.33	1.00	2.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～35週保健所受理分)

2類感染症	結核	76例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9例	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	12例	つつが虫病	10例
	レジオネラ症	4例	日本紅斑熱	6例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	6例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	9例	水痘(入院例)	2例
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	2例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	4例(1)
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	127例(6)
			百日咳	4例

()内は今週届出分、再掲